

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(小学校用)

都道府県名	鳥取県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	郡家町立郡家東小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	21
児童数	52	49	44	45	46	51	4	291	

研究の概要

1. 研究主題

自ら学び、自ら考え、進んで高めあう子どもの育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1～6年国語(言語の学習としての国語の学習を窓口として、すべての学習の基礎となる、言語能力・思考力・感性等を育成していくことが大切だと考えた。)

1～6年算数(国語と同じように他教科の基礎となる学習であり、どの子にも確実に定着させていくことが大切だと考えた。)

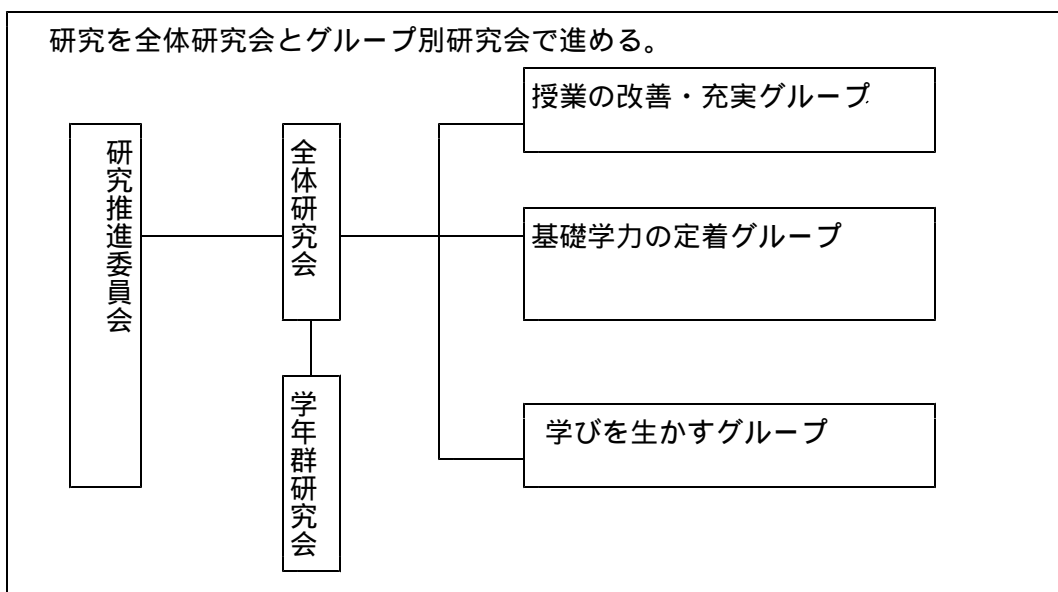
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 自分の思いや考えを生き生きと表現する子どもの育成 —自ら教材にかかわり、言葉の力をつけ、自己を表現するこども—</p> <p>仮説 国語科学習の中で豊かな読みを創っていくことによって、言葉を獲得したり言語を基にした感性を育てたりすることができ、表現力が高まるのではないが。 幅広く思考させることによって、様々な表現の仕方を獲得し、表現力が高まるのではないが。 学習の中や日常生活の中に書く活動を多く取り入れることによって、表現が高まるのではないが。</p> <p>研究の内容・方法 国語授業の充実 学習過程の工夫・改善 / 授業研究会 基礎学力の定着 音読・視写・漢字等の学習の習慣化 / 一人学びの手引きの作成 言語環境の充実 図書コーナーや関連図書・言語感覚を育む掲示 / 場の設定</p>
--------	--

平成 15 年度	<p>テーマ</p> <p>確かな学力を身につけ、学びを生かす子どもの育成</p> <p>研究の見通し      授業を改善し、充実した国語科・算数科の学習を推進すれば、基礎・基本が定着し、確かな学力が身につくであろう。      各授業や授業以外の時間で、「継続と徹底」を図れば、確かな学力が身につくであろう。      各教科や生活の中で、獲得した学力を生かす場を設定したり、意識させたりしていけば、確かな学力が身につく、自ら問いを持ち学びを生かす子どもになるであろう。</p> <p>研究の内容・方法      授業の改善・充実      学習過程の工夫・改善 / 授業を通しての研究      基礎・基本の確認（教材の分析・研究）      中央中学校との連携（授業公開・授業研究会）      基礎学力の定着      読む力・書く力・計算する力をつけるための工夫 / 継続と徹底      学習の習慣化 / 一人学びの手引きの充実・作成      グループによる教材の工夫・研究</p> <p>学びを生かす      各教科や生活における場の設定 / グループによる実践</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ</p> <p>確かな学力を身につけ、学びを生かす子どもの育成</p> <p>研究の見通し      授業を改善し、充実した国語科・算数科の学習を推進すれば、基礎・基本が定着し、確かな学力が身につくであろう。      各授業や授業以外の時間で、「継続と徹底」を図れば、確かな学力が身につくであろう。      各教科や生活の中で、獲得した学力を生かす場を設定したり、意識させたりしていけば、確かな学力が身につく、自ら問いを持ち学びを生かす子どもになるであろう。</p> <p>研究の内容・方法      授業の改善・充実      学習過程の工夫・改善 / 授業を通しての研究      基礎・基本の確認（教材の分析・研究）      中央中学校との連携（授業公開・授業研究会）      基礎学力の定着      読む力・書く力・計算する力をつけるための工夫 / 継続と徹底      学習の習慣化 / 一人学びの手引きの充実・作成      グループによる教材の工夫・研究</p> <p>思考力（判断力）、表現力を一層高めていくための国語科の学習の充実。      学びを生かす      各教科や生活における場の設定 / グループによる実践</p>
----------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

成果

- ・毎日の「朝の読書」により、落ち着いた朝のスタートが確実に定着している。アンケート結果（学校・家庭学習等）を見ると、全校の半数の児童は「楽しい」、大体楽しいを含めると87%と多くの児童が楽しく有意義な時間を過ごしている。また、家庭での読書人数も増え、良い影響を及ぼしている。
- ・音読に関しては、5・6年生の取り組みが大変よくなった。また、音読がすらすらできるようになったと意識している児童が全体の90%をしめている。
- ・「チャレンジタイム」（月・火・木・金の10分間 主に漢字の読み書き）の継続的実践で、プリントや練習に取り組む児童の集中力が高まってきた。  
漢字の読み書きテストの結果（12月末実施、各学年習得しなければならない漢字全て）  
漢字の読み・・・4年生（85%）以外、90%以上習得  
漢字の書き・・・4,5年生は76%、2,3年生は86%、6年生は80%
- ・「計算する力」をつけるため、100ます計算に取り組んでいる。  
授業開始5分間或いは1日1回実践継続の結果、ほとんどの児童が意欲的に取り組めるようになってきた。  
計算力...1～4年生平均80点以上 5年生...平均77点  
6年生...平均64点  
全体の90%の児童が漢字を書く力や計算をする力がついたと実感している。
- ・学習の習慣化については、学校便り、学年便り、保護者会などでその大切さや必要性を啓発している。どの学年も4月当初に比べ家庭学習時間が長くなってきている。
- ・少人数指導（T・Tを含む）について  
算数科と国語科を中心に全学年実施してきた。特に算数科の授業は習熟度別の少人数指導（2クラスを3コースに分けて）を実施した。一人一人の児童の学習理解を把握したり、各コースの学習の進め方を試行錯誤したりしながら行ってきた。結果、個々の児童の学習理解が深まり、意欲的に取り組む児童が増え、学習がよく分かり楽しいという児童が全体の約86%（内33%はとても楽しい）と良い傾向が見られ出した。
- ・継続と徹底で児童に力をつけるという目標に向かって、全職員取り組むことができた。
- ・中央中学校との連携（授業公開・授業研究会等）は、今年度初めての試みであった。参加していただくことで小学校の学習の様子や児童の実態を把握してもらったことができ、小中見通しのある情報交換の手がかりとなった。

## 2. 今後の課題

- ・少人数指導の一層の充実を図るため、補充的な学習と発展的な学習について更に明確にし、授業の構想での位置づけと指導と評価の計画の作成と実践。
- ・習熟度に応じた教材教具の工夫し、さらに、個に応じた指導のあり方の研究を深める。
- ・学ぶことの基礎となる 読む力・書く力・話す力をどの子にも身につけさせるため、国語科の基礎・基本を再度確認し授業の改善・充実を図る。

### 学力等把握のための学校としての取組

- ・県診断テスト実施
- ・家庭学習についてのアンケート  
生活習慣と学習の相関関係について知らせ、家庭との連携方法を工夫するため。(4月・12月)
- ・学校についてのアンケート  
児童の学校に対する思いを知ることによって、教師の指導の参考にするため。(12月)
- ・月末テスト(国語・算数) ...毎月1回月末
- ・漢字の読み・書きと計算のテスト...12月、2月(予定)

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・町内の小中の研究主任の先生との研究実践の報告と情報交換をする予定。
- ・研究会開催について...研究会を検討中。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無